

平成 2 1 年度再評価対象事業一覧表 (事業採択後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)	備考
7	一般国道498号道路改良事業 (大坪バイパス) 事業主体： 佐賀県 事業地： 伊万里市 大坪町	大坪バイパスは、既に供用している国道498号松浦バイパスと接続し、九州横断自動車道武雄北方ICと西九州自動車道伊万里東IC(仮称)間や重要港湾伊万里港との連携強化、伊万里市と武雄市の交流促進や佐賀空港へのアクセス強化などの役割を持った広域幹線道路の一部であるとともに、朝夕の通勤通学時に渋滞している国道202号との交差点である上伊万里交差点の渋滞解消と沿線地域の交通安全確保を目的としたものである。	全体事業費：70億円 (暫定) 工期：H12~H22 事業内容 改良工 L=3,100m 橋梁工 N=3基 測試 1式 用地補償 1式 4車線バイパス 暫定2車線施工	H20末進捗率 約78% (事業費ベース) (年平均進捗率 9%)	H9交通量 12,247台/日 H11交通量 13,475台/日 H17交通量 14,565台/日 ・H15年3月に伊万里湾大橋が開通。 ・伊万里港国際コンテナターミナルのコンテナ取扱量の増加に対応するため、新たに水深13m岸壁の整備が進められている。 ・伊万里湾岸の伊万里団地に、H15年に中国木材(株)やH18年5月に(株)SUMCOが進出決定するなど、企業進出が相次いでおり、今後も交通量の増加が見込まれる。	事業採択時と比較して費用対効果要因の大きな変化は見られない。 B/C=1.4	(コスト削減) ・再生資材の利用促進を図っている。 ・建設発生土を盛土材へ有効活用するため、計画や工程の調整を行っている。	着手より10年経過のため再評価	継続 (理由) 当初より、本事業の必要性・重要性は変わらない。 現在も、依然として円滑な交通及び交通安全の確保が出来ていないことから、引き続き事業を継続したい。	

